

平成30年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価シート

<評価基準> A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30年度		実績	評価	29年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績			30年度	実績	評価	目標	目標
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1) 関係機関・専門家等を活用した調査及び分析	6回	8回	記帳指導協議会、紫波町産業ネットワーク協議会、第1回経営力向上会議等を行い、情報共有を図った。	A	5回	B	6回	6回	6回
	(2) 刊行物等による調査及び分析	12回	11回	職員間で刊行物等を回覧し、事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行っている。	A	9回	C	12回	12回	12回
	(3) 小規模企業景気動向調査の活用	4回 30事業所	3回 15事業所	全国商工会連合会から委託を受けて実施している小規模企業景気動向調査の実態を把握しているが、独自の調査にはいたっていないが、事業計画等に活用している。	C	3回 30事業所	C	4回 30事業所	4回 30事業所	4回 30事業所
	(4) 小規模事業者への情報提供と活用	4回	3回	小規模事業者全体に広く周知することにはいたっていないが、事業計画を作成する際に検討材料として活用している。	C	0回	E	4回	4回	4回
2. 経営状況の分析【指針①】	(1) 巡回指導等による経営状況の分析	40件	34件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定につなげている。	B	38件	B	40件	40件	40件
	(2) ネットde記帳を活用した経営状況の分析	20件	20件	ネットde記帳を活用し、経営状況の分析を行っていないが、いつでも経営状況の分析ができるように処理は行っている。	A	20件	A	20件	20件	20件
	(3) 小規模事業者経営改善資金等を活用した経営状況の分析	20件	18件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について、資料の作成を行っている。	B	20件	A	20件	20件	20件
	(4) 専門家を活用した経営状況の分析	12回	7回	毎月1回を目標に、専門家による個別相談の開催を行い、個社の事業計画策定に向けた支援に活用している。	C	6回	C	12回	12回	12回
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1) 専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催	12回 36人	9回 29人	専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催を行い、事業計画策定の必要性等について説明を行った。	C	8回 32人	C	12回 36人	12回 36人	12回 36人
	(2) 事業計画策定までのアプローチ	30件	34件	窓口指導や巡回指導時に、個社の持続的発展のために個社の強みや弱み、市場や個社に対するニーズなどの説明を行い、事業計画策定につなげている。	A	30件	A	30件	30件	30件
	(3) 事業承継・創業希望者に向けた事業計画策定支援	2件	1件	事業承継に向けた事業計画策定支援として、青年部員を対象に事業計画(事業承継)策定説明会の開催を行った。	C	1件	C	2件	2件	2件
	(4) 小規模事業者経営発達支援資金等の活用	15件	5件	事業計画策定の支援を行った事業者に対して、小規模事業者経営改善資金等を活用し、事業計画遂行に必要な資金等について支援を行った。	C	6件	C	15件	15件	15件
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1) 事業計画策定後の進捗管理	120回 23回	120以上 23以上	事業計画策定後の巡回訪問実績 巡回件数 430件(平成31年1月31日現在)	A	120以上 23以上	A	120回 23回	140回 29回	140回 29回
	(2) 金融・創業支援後のフォローアップ	8件 2回20人	4件 0回0人	マル経・マル普幹旋 4件 4,800万円	D	7件 0回0人	C	8件 2回20人	8件 2回20人	8件 3回20人
5. 需要動向調査【指針③】	(1) バイヤー(専門店・百貨店)からの需要動向調査	30件 2回	6件 0回	岩手県商工会連合会主催の販路開拓事業等への参加を促すなど、情報提供を行っている。	D	0件 1回	D	30件 2回	30件 2回	30件 2回
	(2) 物産展等でのアンケート調査による需要動向調査	1,000人 /2	586人 /2	首都圏の「東京都練馬区光が丘地区祭」で、アンケート調査において、消費者のニーズの把握を行った。11月には「東京都日野市産業祭」でアンケート調査の実施を行った。	C	678人 /2	C	1,000人 /2	1,000人 /2	1,000人 /2
	(3) 関係機関と連携した需要動向調査	2回	1回	岩手県商工会連合会を通じて、県内外への物産展への参加を促し、需要動向調査を実施している。	C	1回	C	2回	2回	2回
	(4) 関係機関が発行する機関誌における需要動向調査	4回	3回	関係機関が発行する機関誌等を職員間で回覧し、販路拡大や事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行い、個社支援の際に提供している。	C	0回	E	4回	4回	4回
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1) 展示会・商談会への事前研修等による支援	2回 1回	1回 0回	岩手県商工会連合会を通じて、県内外への物産展への参加を促し、展示会・商談会への事前研修等の支援を行った。	D	1回 1回	C	2回 1回	2回 1回	2回 1回
	(2) 地域特産品を活用した個社の活動支援事業	2回	2回	今年度も日本酒等に特化した特産品パンフレットを作成し、紫波町の特産品のPRを行い、地域内の小規模事業者の売上向上を図っている。	A	2回	A	2回	2回	2回
	(3) 関係機関との連携による個社の活動支援事業	2回	2回	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、首都圏のイベント「東京都練馬区光が丘地区祭」に参加し、経費的な面から人員的な面まで販路開拓に寄与する支援を行っている。11月には「東京都日野市産業祭」で配布を行った。	A	2回	A	2回	2回	2回
	(4) 展示会・商談会等の参加者へのITを活用した販路開拓	1回 (10件)	1回 (0件)	ITを活用した販路開拓支援として、全国商工会連合会が運営するECサイト「ニッポンセレクト・Com」への出品勸奨を巡回指導時に行っているものの企業登録や商品登録までにはいたっていない。	C	0回 (0件)	E	2回 (20件)	2回 (20件)	2回 (20件)

平成30年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価シート

<<評価基準>> A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E: 未実施(0%)

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30年度		実績	評価	29年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績			実績	評価	目標	目標	目標
1. 地域経済活性化事業	(1) 紫波町ブランドの確立と商品開発	1回	0回	(株)紫波フルーツパークの紫あ波せサブレの開発にあたり、事業計画策定や小規模事業者持続化補助金の活用、アンケート調査などの支援を行った。	C	0回	E	1回	1回	1回
	(2) 中心市街地活性化事業を中心とする地域活性化対策	6回	4回	中心市街地活性化検討委員会を開催し、紫波町の活性化を図るために新たな「グルメマップ」を作成し、観光客にパンフレットの発行を行い、好評である。(パンフレットサイズの見直し、スタンラリー企画などを行い、増刷したものの各店舗において、パンフレットの不足が出ているほどの好評であり、人気になっている)	B	3回	C	6回	6回	6回
	(3) 活性化イベントの見直しと充実	9回	6回	町内のまつりとして「びっくり市(7月)」、「夏まつり(8月)」、「産業まつり(10月)」を主催・共催で実施している。今後、「新酒まつり(1月)」、「びっくり市(2月)」を開催。	C	7回	C	9回	9回	9回

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	30年度		実績	評価	29年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績			実績	評価	目標	目標	目標
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1) 支援機関・金融機関との連携及び情報の交換	8人 4回	22人 2回	研修会や懇談会に積極的に参加し、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	C	17人 4回	A	10人 4回	10人 4回	10人 4回
	(2) 専門家等との連携及び情報の交換	2回	4回	岩手県商工会連合会主催の販路開拓事業等に参加するなど、専門家等との連携しながら情報交換を行い、事業計画作成等の成果・実績につながっている。	A	2回	A	2回	2回	2回
	(3) 『紫波町経営力向上会議』の設置	2回	2回	『紫波町経営力向上会議』の開催を行い、各機関の支援ノウハウ、支援の現状等について情報交換を行った。	A	2回	A	2回	2回	2回
2. 経営指導員等の資質向上等	(1) 職種別の資質向上	-	-	職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向け研修会、中小企業基盤整備機構の研修等への参加し、資質向上に取り組んでいる。	A	-	A	-	-	-
	(2) 職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立てている。	随時	随時	C	随時	随時	随時
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1) 事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証	4回	1回	経営発達支援計画の内容について、各担当者により、現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	D	4回	A	4回	4回	4回
	(2) 三役会での進捗状況の確認及び事業内容の検証	12回	3回		D	9回	C	12回	12回	12回
	(3) 理事会での評価・見直し方針の決定	4回	1回		D	3回	C	4回	4回	4回
	(4) 『紫波町商工会事業評価委員会』での評価及び検証	1回	3回		A	2回	A	1回	1回	1回
	(5) 会員・町への報告	1回	-	次年度(平成31年)の総会終了後、会員・町へ報告する予定である。	-	-	-	1回	1回	1回
	(6) 事業結果の公表	7回	-		-	-	-	7回	7回	7回

総合評価
C